



チンパンジーの研究から 人間を考える

チンパンジーは、人間に最も近縁な生き物です。チンパンジーの研究を通して、人間の本性の進化的基盤を理解することができます。だましあいから協力、出産、子育てにいたるまで、チンパンジーの研究を通して見えてきた彼らの姿を紹介します。

一方、肝炎治療の研究のために使われてきたチンパンジーもいます。そうしたチンパンジーの国内での飼育の歴史についても概説し、彼らの福祉と保全について考えたいと思います。

日時: 2015年 **12月12日** (土)

15:00~16:30

場所: 武庫川女子大学
日下記念マルチメディア館1F
マルチメディアホール

(〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46)

参加**無料** 申込**不要**
誰でもご参加いただけます

京都大学

野生動物研究センター 教授
熊本サルクチュアリ 所長

平田 聡 さん



プロフィール

2001年3月 京都大学大学院理学研究科
生物科学専攻博士後期課程修了、博士(理学)
林原類人猿研究センター主席研究員などを経て現職。
日本学術振興会賞、日本学士院学術奨励賞など受賞。
著書に、「仲間とかかわる心の進化:チンパンジーの社会的知性」(岩波科学ライブラリー 2013年)



駐車場はありませんので
公共交通機関をご利用ください。



主催: 武庫川女子大学 バイオサイエンス研究所

連絡先: desk_aex@mukogawa-u.ac.jp

0798-45-9749 (内線5750 担当: 落合)